

第43回

令和4年度

日本大学

軽井沢公開講座

日時／令和4年9月24日(土) 13:00～16:10

会場／日本大学 軽井沢研修所

〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢1052-1

TEL.0267-42-2401

講演

1

講演時間 13:10～14:30

音楽の力で日本にエネルギーを

芸術学部教授 三戸 勇氣(みと ゆうき)

講演

2

講演時間 14:50～16:10

新型コロナウイルスをもっと知ろう

医学部教授 高山 忠輝(たかやま ただてる)

●募集人員／50名



左記のQRコードからお申し込みサイトへアクセスしてください。

●参加費／無料

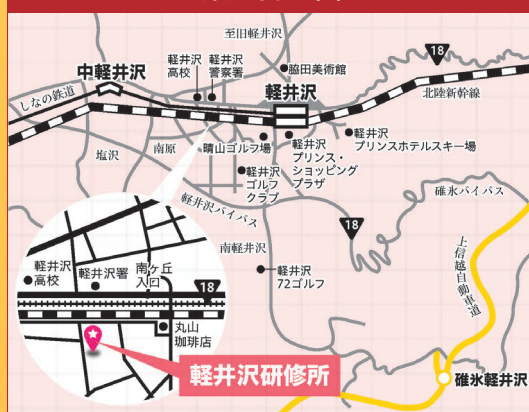
●参加対象／軽井沢町及び近隣在住者、
本学学生・生徒及び教職員

●お問合せ／日本大学本部学務部学務課

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24

TEL.03-5275-8115 FAX.03-5275-8315

案内図



主催／日本大学 後援／軽井沢町・軽井沢町教育委員会

講演概要

講演① 音楽の力で日本にエネルギーを

いきなりですが、質問です。日本の音楽業界は好景気でしょうか？それとも不景気でしょうか？今、皆さんに音楽は必要ですか？現在、コロナ禍だから音楽業界は不景気だと考える人が多いでしょう。たしかに、音楽業界は新型コロナウイルスの影響で冷え込んでいます。

しかし、2022年3月期のソニーグループ株式会社は、過去最高益を記録し、その中の音楽分野があるソニー・ミュージックエンタテインメントの売れ行きも好調であるというニュースを目にした人もいるでしょう。コロナ禍でも音楽業界で収益を上げている企業があることに驚くかもしれません。

しかし、こんな時代だからこそ、音楽が必要であるという意見の人も多いのではないのでしょうか。今回は、音楽マーケティングや音楽心理学などの観点から、音楽の価値や意義を考え、さらに音楽がこれからの日本にどのようにエネルギーを届けられるのかを検討することで、「音楽の力」を再認識していきたいと思います。

講演② 新型コロナウイルスをもっと知ろう

もともとコロナウイルスは、かぜのウイルスです。2002年に中国で重症肺炎の患者さんから検出されたコロナウイルスがSARSです。コウモリが宿主で、ヒトへの感染が見られました。その後、ラクダが宿主となった風邪ウイルスのコロナウイルスMERSがあります。これは、中東で発見され、重症肺炎を起こします。2015年には、韓国でも流行しましたが、幸い日本には上陸しませんでした。

さて、新型コロナウイルスは、2019年に中国武漢市で発見され、日本を含め全世界に感染拡大しています。コウモリが起源といわれています。当初、重症肺炎を起こしました。その後、変異株となり、感染力は増強しましたが、重症化は減少しました。mRNAワクチンが開発され、人類の感染症対策としては画期的なものです。治療薬・抗ウイルス薬が徐々に開発されています。日本大学医学部附属板橋病院での1000人を超える新型コロナウイルス感染症患者さんの診療経験から、新型コロナウイルスについてのお話をしていきます。